

提 案 概 要

（小倉駅新幹線口コンベンション施設（北九州国際展示場・北九州国際会議場）指定管理者）

団体名：公益財団法人北九州観光コンベンション協会

1 指定管理者としての適性について

（1）施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p>理 念：当施設の効率的・効果的な一体管理や地域団体、関連事業者との連携により多様な交流・にぎわいを創出し、北九州市の持続可能で魅力的なまちづくりに貢献する。</p> <p>方針 1：これまで開催している主催事業[にぎわい創出事業]の更なる魅力向上と新たな主催事業開催に向けての取り組みを行います。</p> <p>方針 2：首都圏での営業力強化やグローバルレベルでのネットワーク構築等により MICE 誘致の更なる強化を行います。</p> <p>方針 3：当協会の観光事業部や様々な地域団体や事業者との連携を行うことで北九州市のにぎわいを創出します。</p> <p>方針 4：施設の一体管理による効率的・効果的な管理運営を行います。</p> <p>方針 5：安全・安心・快適な施設の管理を行います。</p> <p>方針 6：北九州市の目指す都市像や重点戦略に沿い持続可能なまちづくりに貢献します。</p>
（2）安定的な人的基盤や財政基盤
<ul style="list-style-type: none"> ・当協会は北九州商工会議所の会頭を理事長とし、役員は産業界（北九州商工会議所等経済団体、企業）、行政（北九州市）等により構成されています。経験豊富なプロパー職員をはじめ、専門性のある派遣職員等職員全員が各々の能力を最大限に発揮することで、施設運営能力を効果的に発揮できる組織体となっています。 ・当期純利益率は直近の3ヶ年でプラスとなっており、自己資本比率は過去5年で約90%を維持、流動比率も過去5年で100%を大きく超えており、高い財務的安全性と健全性を堅持しています。
（3）実績や経験など
<ul style="list-style-type: none"> ・当施設（北九州国際展示場【平成10年～令和5年】及び北九州国際会議場【平成2年～令和5年】）の現指定管理者であり、併設する当協会所有の西日本総合展示場【昭和52年～令和5年】と一体的に管理運営することで、グローバル志向のMICEを誘致開催してきました。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取り組み
（1）施設の設置目的の達成に向けた取り組み
<p><事業計画の内容></p> <p>①主催[にぎわい創出]事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決 EXPO」や「西日本陶磁器フェスタ」等の産業振興型イベント、「トミカ博 in KITAKYUSHU」や「手作り市場 in 北九州」等の集客にぎわいイベント、「北九州将棋フェスティバル」や「全国俳句大会 in 北九州」等の文化振興型イベントを開催します。 ・既存展示会内の企画等から始めて顧客・市場を徐々に育てていくことで単独事業化を目指す、“スモールスタート”の手法により、新規展示会の開発に取り組みます。 <p>②MICE 誘致事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏マーケットへの積極的な働きかけや誘致強化に向けて、キーパーソン・学協会・PCO へのフェイス・トゥ・フェイス・マーケティングの実施やグローバルレベルでの誘致強化、ステークホルダーとの連携等既存取組の更なる工夫と、マーケティング的思考を取り込んだ営業を実施します。 <p>③貸館事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業についての誘致・営業強化及び積極的な日程提案と、質の高い貸館サービスの提供に努めるとともに、コンサートや国際スポーツ大会等の大型催事の誘致に重点を置いて取り組みます。

<施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組み>

- ・会議やイベントに関する誘致・営業活動の拡大やMICE開催地としての総合的な魅力向上策として、様々な開催支援の実施や観光事業との連携強化と、ユニークベニュー・アフターコンベンションの充実を図ります。
- ・次期に向けた新たな取り組みとして、web予約システム及び問合せシステムの導入、観光事業部と連携したツアーの企画提案等を行います。

<施設間の有機的な連携を図るための取り組み>

- ・当協会が管理運営する3施設を有機的に連携させ、施設の利用拡大を図ります。また、国内外のコンベンション施設と連携し、コンベンション施設管理に関する知見向上等に取り組めます。

<施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な取り組み>

- ・顧客の特性に合わせた積極的な営業活動を行うとともに、当協会の専門性を活かした広報活動に取り組めます。また、ホームページや各種Webメディアを活用した効果的な情報発信を実施します。

(2) 利用者の満足度

- ・利用者満足が得られるための取り組みとして、一貫して同一担当者が業務を担当するワンストップサービスを行います。また、サービス向上のための人材育成や情報共有を行います。
- ・アンケートを中心に利用者意見把握に努めます。また、次期指定管理期間はアンケート回収率の向上を目指し、利用者意見を反映するスキームの確立、サービス改善を行います。
- ・利用者からの苦情については、再発防止の改善PDCAサイクルにより、発生防止に努めます。
- ・あらゆる人が容易に情報を受け取れるよう、障がい者対応や外国人対応等を行います。

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理料及び収入

- ・業務の見直しや省エネ対応等により、光熱水費や業務委託費等のコスト縮減を行い、指定管理業務に係るムダを省くことで利益確保に努めます。
- ・稼働率の向上や主催業務の強化により収入増加を図るほか、自主事業についても新たな取り組みを行い、収益増加を図ります。
- ・各事業年度において収益が出た場合、「{(収入合計額) - (支出合計額)} ÷ 2」の額を市に納付します。

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- ・収支計画については、これまでの運営実績をもとに算出しています。現指定管理期間は、新型コロナウイルス感染症の流行等もあり、一過性の要素も考慮した実現性の高い計画を作成しています。

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

- ・主要人員に適切な経験を有する職員を配置するとともに、各種部門を超えた会議等により、部門間の連携も行います。
- ・施設の管理運営やMICE振興に資する高度人材育成のための各種研修を実施します。
- ・地域の関係団体と連携した主催事業の実施等、地域の活力を活かした事業展開を行います。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ・個人情報保護や平等公平な利用については、各種法令等を遵守し、適切に実施します。
- ・安全対策として、特に維持管理における未然防止を中心に行い、事故防止を図ります。
- ・危機管理体制については、非常災害時を常に意識し、対応・連絡体制をしっかりと構築します。

(3) 地域貢献・社会貢献

<社会貢献>

- ・働きやすい労働環境を整備し、高齢者及び障がい者雇用の促進等に取り組めます。また、北九州市の施策及び当施設の設置目的を踏まえ、SDGs達成に向けた取り組みや、環境に配慮した取り組みを進めます。

<地域貢献>

- ・周辺美化、清掃活動の実施や泡盛ナイト in こくらの開催、歓迎装飾等の実施のほか、地域団体や市内事業者等と連携した取り組みを行います。
- ・公平・公正な選考に配慮しつつ、地域情報やネットワークを有する地元市民の雇用促進を進め、施設の管理運営に活用していきます。

提案額（千円）

令和7年度	250,851千円
令和8年度	250,851千円
令和9年度	250,851千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。